

新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

令和2年3月16日

伊丹市長 藤原 保幸

本日、新型コロナウイルス感染症に感染された伊丹市民お一人がお亡くなりになりました。

この方は70歳代の男性で、介護老人保健施設「グリーンアルス伊丹」のデイケアご利用者のご家族であり、3月7日より尼崎市内の医療機関で入院されておりましたがお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

同施設では、県伊丹健康福祉事務所の指導に基づき、デイケア事業を休止、職員の自宅待機等を実施しています。

本市は「伊丹市新型コロナウイルス感染症対策本部」において、これ以上の感染拡大を防止するために、関係機関と連絡を密にとり、可能な限りあらゆる手段を尽くしています。

市民・事業者の皆様におかれましては、国や県、市が発信する情報にご注意いただくとともに、手洗いや咳エチケット、人ごみに行かないといった感染予防対策にしっかりと取り組んでいただけるよう、お願いを申し上げます。

このような時だからこそ、伊丹市らしく、「支え合いの心でつくる安全・安心のまち」を心に、地域で助け合いながら、乗り越えていきましょう。